

平成 26 年度

2 級実験動物技術者認定試験

各 論  
(サル類)

試験時間 : 13 時 00 分～15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を1つ鉛筆で黒く塗りつぶしてください。  
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

平成 26 年 8 月 17 日

(公社)日本実験動物協会

## 各論：サル類

それぞれの設問について、該当するものを1つ選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

1. サル類で退化した神経・感覚として正しいものはどれか。
  - 1) 指先の知覚
  - 2) 大脳半球
  - 3) 視覚
  - 4) 嗅覚
  
2. 以下のサル類のうち寿命が最も短いのはどれか。
  - 1) リスザル
  - 2) マーモセット類
  - 3) ニホンザル
  - 4) アカゲザル
  
3. チンパンジーの寿命として適切なものはどれか。
  - 1) 15～20年
  - 2) 約30年
  - 3) 約40年
  - 4) 約50年
  
4. サル類の寿命について短～長の順に並んでいるものはどれか。
  - 1) リスザル → コモンマーモセット → カニクイザル
  - 2) リスザル → ニホンザル → コモンマーモセット
  - 3) コモンマーモセット → カニクイザル → リスザル
  - 4) コモンマーモセット → リスザル → カニクイザル
  
5. サル類について正しい記述はどれか。
  - 1) サル類は一般に高い知能を有するので環境適応も早い。
  - 2) サル類は人獣共通感染症を含めて伝染病に感染している可能性が高い。
  - 3) 日本で実験用に用いられるサル類の大部分は国内のニホンザルである。
  - 4) 実験用に繁殖されたサルについては、輸入検疫は省略できる。
  
6. わが国が輸入するカニクイザルの原産地域として正しいものはどれか。
  - 1) 東南アジア地域
  - 2) 北米地域
  - 3) オセアニア地域
  - 4) 中近東地域

7. マカク属サル類に分類されるものはどれか。
- 1) キツネザル
  - 2) コモンマーモセット
  - 3) ニホンザル
  - 4) リスザル
8. サル類の解剖・生理学的特徴について正しい記述はどれか。
- 1) 脳の中では小脳が特に発達している。
  - 2) 完全な立体視が可能である。
  - 3) 類人猿などを除けば、一般的に盲腸は存在しない。
  - 4) 遠方の物体は認識できるが、色の識別はできていないと考えられる。
9. マカク属サル類の頸椎数について正しい記述はどれか。
- 1) 5個
  - 2) 7個
  - 3) 9個
  - 4) 11個
10. マカク属サル類の椎骨数が個体により異なるのはどれか。
- 1) 胸椎
  - 2) 腰椎
  - 3) 仙椎
  - 4) 尾椎
11. マカク属サル類の胸腔・腹腔臓器に関して正しい記述はどれか。
- 1) 右肺は前葉、中葉、後葉、副葉の4葉からなる。
  - 2) 左肺は縦隔膜によって前葉と後葉に分けられる。
  - 3) 結腸は上行および下行結腸に分けられる。
  - 4) 大腸は結腸、直腸から構成される。
12. マカク属サル類の安静時の呼吸数に関して正しい記述はどれか。
- 1) 10～20回/分
  - 2) 15～25回/分
  - 3) 30～40回/分
  - 4) 40～60回/分
13. 5 kgの大きさのマカク属サル類の循環血液量に関して正しい記述はどれか。
- 1) 全量が80～120 ml程度である。
  - 2) 全量が120～250 ml程度である。
  - 3) 全量が250～400 ml程度である。
  - 4) 全量が400～550 ml程度である。

14. マカク属サル類の永久歯の数として正しい記述はどれか。
- 1) 14本
  - 2) 16本
  - 3) 28本
  - 4) 32本
15. 霊長類の分類について正しい記述はどれか。
- 1) 世界中に存在するサル類は100種類程度といわれている。
  - 2) 動物分類学上はサル類だけで人類は含まれない。
  - 3) 広鼻猿はアジアに生息している。
  - 4) 一般にサルというといろいろな種類のサルの総称となる。
16. サル類の一般的分類について正しい記述はどれか。
- 1) 高等霊長類は新世界ザルと旧世界ザルに分けられる。
  - 2) 真猿類のことを下等霊長類という。
  - 3) 狭鼻猿は新世界ザルともよばれる。
  - 4) 原猿類は旧世界ザルともよばれる。
17. 分類学上、狭鼻猿に分類される種として正しい組み合わせはどれか。
- 1) アイアイ ・ インドリ
  - 2) スローロリス ・ メガネザル
  - 3) コモンマーモセット ・ コモンリスザル
  - 4) アカゲザル ・ ニホンザル
18. 医学生物の実験に用いられる実験用サル類の種類（数）として正しいものはどれか。
- 1) 10種類程度
  - 2) 20種類程度
  - 3) 30種類程度
  - 4) 40種類程度
19. アカゲザル、カニクイザル、タイワンザルを飼育する場合に飼養等許可を環境省から受ける必要があるが、その際の根拠となる法律は何か。
- 1) カルタヘナ法
  - 2) 外来生物法
  - 3) 家畜伝染病予防法
  - 4) 動物愛護法

20. アカゲザルについて正しい記述はどれか。
- 1) 中型のサルでカニクイザルと同じ属に分類されている。
  - 2) 体毛は全体に赤褐色をしている。
  - 3) ヒトに良く慣れ、攻撃性は高くない。
  - 4) 実験動物としての歴史が浅く、バックグランドデータは乏しい。
21. カニクイザルについて正しい記述はどれか。
- 1) ニホンザルと同じ属に分類されるが、大型のサルである。
  - 2) 脳神経生理学の分野など用途は限定されている。
  - 3) 体毛は灰黒色である。
  - 4) 果実、木の実や魚介類を好んで食べる。
22. コモンリスザルについて正しい記述はどれか。
- 1) 原猿類に属する小型のサルである。
  - 2) キツネザル科に属する。
  - 3) 体長よりも長い尾を有し、体毛は黄色い。
  - 4) 攻撃性が高く、順化に時間がかかる。
23. マーモセット科に属するサルの組み合わせとして正しいものはどれか。
- 1) コモンマーモセット ・ コモンリスザル
  - 2) スローロリス ・ コモンマーモセット
  - 3) アカハラタマリン ・ ワタボウシタマリン
  - 4) ワタボウシタマリン ・ コモンリスザル
24. サル類のツベルクリン反応検査について正しい記述はどれか。
- 1) 検疫期間中は、1週間以上の間隔をあけ3回以上実施する。
  - 2) 検疫期間中は、2週間以上の間隔をあけ3回以上実施する。
  - 3) 長期飼育のときは数年毎に実施する。
  - 4) 検疫時に実施すれば、その後に行う必要はない。
25. サル類のツベルクリン反応検査でツベルクリン液を注射する部位はどこか。
- 1) 臀部皮内
  - 2) 上腕部皮内
  - 3) 頸背部皮内
  - 4) 眼瞼皮内
26. サル類の糞便検査で検出目的となる主な病原体として正しいものはどれか。
- 1) トキソプラズマ
  - 2) 黄色ブドウ球菌
  - 3) サルモネラ菌
  - 4) 溶血連鎖球菌

27. マカク属サル類では健康な時、どの程度の糞便を排出するか。
- 1) 20～30 g/日
  - 2) 30～50 g/日
  - 3) 50～100 g/日
  - 4) 100～150 g/日
28. サル類の疾患で、獣医師が所轄保健所に届ける必要がある感染症の正しい組み合わせはどれか。
- 1) マールブルグ病、エボラ出血熱
  - 2) 細菌性赤痢、コレラ
  - 3) マラリア、マールブルグ病
  - 4) コレラ、Bウイルス感染症
29. サル類を観察し異常個体を発見する際の記述として正しいものはどれか。
- 1) 口唇は正常な状態では乾いている。
  - 2) サル類はかなり具合の悪い時でも、観察者を意識し、攻撃的な行動をとる。
  - 3) 観察者の意識を引くため、具合の悪いふりをする個体もいる。
  - 4) 耳翼がぴんと張っている場合は神経系に過度の緊張が生じている場合である。
30. サル類と同様にアスコルビン酸を体内合成できない動物はどれか。
- 1) イヌ
  - 2) ネコ
  - 3) ラット
  - 4) モルモット
31. コモンマーモセットで認められるクル病の原因は何の欠乏か。
- 1) ビタミンA
  - 2) ビタミンC
  - 3) ビタミンD
  - 4) ビタミンE
32. サル類の飼育管理について正しい記述はどれか。
- 1) 給餌は1日に2回、その他にビタミン補給の間食も与える。
  - 2) 自動給水装置を用いる場合、1週間に1度はノズルが正常であることの確認を行う。
  - 3) グループ飼育でも個体が交互に摂餌、摂水するので給水、給餌の場を分ける必要はない。
  - 4) 給水器を用いる場合は1日、1～2回給水を行う必要がある。

33. カニクイザルの飼育に際し、ポリエチレン製給水瓶を用いる場合の瓶の大きさとして正しいものはどれか。
- 1) 100～250 ml
  - 2) 250～500 ml
  - 3) 500～1000 ml
  - 4) 1000～1500 ml
34. リスザルの1日あたりの摂水量として正しいものはどれか。
- 1) 10～50 ml
  - 2) 50～70 ml
  - 3) 80～100 ml
  - 4) 120～200 ml
35. 無麻酔でサル類を捕獲する際の説明として正しいものはどれか。
- 1) サルの正面から腰部をわしづかみにする。
  - 2) 背後から腕を抑えると骨折の可能性があるので危険である。
  - 3) 首輪を用いる場合は、事前に首輪をつけておき、鎖をつないだ状態でケージ外に出す。
  - 4) 防護具、捕獲網、狭体装置、首輪などを用いて行う。
36. サル類に手術を施した際の術後管理について正しい記述はどれか。
- 1) 麻酔からの覚醒を必ず確認する。
  - 2) 手術日は麻酔からの覚醒を確認すれば、後は翌日の観察でよい。
  - 3) 湿度が上昇するのでシートを敷くことはしない。
  - 4) 麻酔からの覚醒を確認したら、動物群に戻す。
37. サル類の個体識別について正しい記述はどれか。
- 1) 顔面の各部位に数字を入墨する方法がある。
  - 2) 麻酔下での入墨が一般的である。
  - 3) 入墨法では複数の部位を組み合わせれば、最大で数百の識別が可能である。
  - 4) 暫定的な方法としては色素塗布法が簡単である。
38. マーモセット類の雌の性成熟年齢について正しい記述はどれか。
- 1) 1歳
  - 2) 1.5歳
  - 3) 2歳
  - 4) 2.5歳

39. チンパンジーの雄の性成熟年齢について正しい記述はどれか。
- 1) 2～3歳
  - 2) 4～5歳
  - 3) 6～7歳
  - 4) 7～8歳
40. サル類の月経周期について正しい記述はどれか。
- 1) サル類の月経出血量は一般的に少なく、観察者が認識できないことも多い。
  - 2) 月経出血の期間は通常、2～4日間である。
  - 3) 月経周期とは月経の終了日を第1日とし、次の月経終了前日までの長さを1周期の長さとする。
  - 4) 月経出血の期間は、個体差はなく、ほぼ一定である。
41. アカゲザルとチンパンジーの月経周期について正しい組み合わせはどれか。
- 1) アカゲザル：22日、チンパンジー：28日
  - 2) アカゲザル：24日、チンパンジー：30日
  - 3) アカゲザル：26日、チンパンジー：33日
  - 4) アカゲザル：28日、チンパンジー：35日
42. サル類の妊娠診断について正しい記述はどれか。
- 1) 血中のホルモン（エストロゲン）を測定する方法が一般的に行われる。
  - 2) 子宮の触診は膣から指を入れ直接子宮を触る。
  - 3) 子宮の触診は指を肛門から直腸内に入れ、間接的に子宮を触る。
  - 4) 子宮を触診する方法は技術的な難易度が高く習熟を要する。
43. マーモセット類の妊娠期間（幅）として正しいのはどれか。
- 1) 95～110日
  - 2) 110～125日
  - 3) 125～140日
  - 4) 140～155日
44. 一部で1産に2子以上の産子数が観察されるサル類の正しい組み合わせはどれか。
- 1) マーモセット類 ・ ニホンザル
  - 2) ガラゴ類 ・ キツネザル
  - 3) リスザル ・ キツネザル
  - 4) ブタオザル ・ ガラゴ類

45. サル類では陣痛が起きてから何時間以内に胎子の娩出が起こるか。
- 1) 数時間以内
  - 2) 7～8時間以内
  - 3) 10～12時間以内
  - 4) 24時間以内
46. サル類の分娩は通常、1日のうち、いつ起こるか。
- 1) 午前
  - 2) 午後
  - 3) 夕方
  - 4) 夜～明け方
47. アカゲザルの出生子の体重について正しい記述はどれか。
- 1) 300～350 g
  - 2) 400～450 g
  - 3) 470～500 g
  - 4) 520～550 g
48. サル類で出生後、臍帯が脱落する時期はいつか。
- 1) 生後1～2日以内
  - 2) 生後3日以内
  - 3) 生後4～5日以内
  - 4) 生後1週間以内
49. サル類で出生時の体重のほぼ2倍および5倍となる時期の組み合わせとして正しいものはどれか。
- 1) 2倍：1か月齢、5倍：6か月齢
  - 2) 2倍：2か月齢、5倍：8か月齢
  - 3) 2倍：2.5か月齢、5倍：12か月齢
  - 4) 2倍：3か月齢、5倍：16か月齢
50. サル類の離乳が可能な時期はいつか。
- 1) 3か月齢
  - 2) 6か月齢
  - 3) 8か月齢
  - 4) 10か月齢